

真言宗における回忌について

真言宗には、初七日に始まり百回忌に至るまでの間、様々な回忌があります。そして、それぞれの回忌においてご法要を営むこともあれば、卒塔婆そとばをお墓に建立してお参りする場合があります。では、そもそも回忌とはいったいどういう意味なのでしょう。

仏教諸宗派で様々な解釈がされているでしょうが、ここでは真言宗の立場で考えてみます。人はこの世に別れを告げ、次に赴く仏様の世界に至るまでの道程において、生前の行いについての裁きを受けると言われています。その裁きが七日毎に行われるのです。そして七回目の裁き、つまり四十九日目が最後の裁きが行われる日です。その結果において、故人がどのような仏様の世界に赴くかが決まります。四十九日までは「故人はまだ近くにいます、旅立っていないのだよ」という信仰は未だにきちんと残っています。その本当の意味はこのような理由からきているのです。ですから、四十九日はとても大事な回忌ですので、ご法要を営み、親類縁者と共に、素晴らしい仏様の世界に旅立つことが出来るようにとお祈りを致します。そして、それ以降の回忌においては、故人を偲び、仏様の世界での安らかなることをお祈り致します。

また、回忌毎に中心となるご本尊様がいらっしやいます。四十九日までは故人の弁護をなさって下さいます。そしてそれ以降も様々な形で故人を助け、また残された人々のお気持ちを仏の世界にいらっしやる故人まで届けて下さいます。そのご本尊様のお名前と、お祈りする時の言葉しんごん（真言と申します）を記しておきますので、是非ともお唱え下さればと思います。

初七日 不動明王 ふどうみょうおう ノウマク サマンダ バザラダン カン

二七日 釈迦如来 しゃかによらい ノウマク サマンダ ボダノウ バク

三七日 文殊菩薩 もんじゅぼさつ オン アラハシヤノウ

四七日 普賢菩薩 ふげんぼさつ オン サンマヤ サトバン

五七日 地藏菩薩 じぞうぼさつ オン カカカ ビサンマエイ ソワカ

六七日 弥勒菩薩 みろくぼさつ オン バイタレイヤ ア ソワカ

七七日 薬師如来 やくしによらい オン コロコロ センダリ マトウギ ソワカ

百箇日 観音菩薩 かんのんぼさつ オン アロリキヤ ソワカ

一周忌 勢至菩薩 せいしぼさつ オン サンザンザン ザク ソワカ

三回忌 阿弥陀如来 あみだによらい オン アミリタ テイゼイ カラ ウン

七回忌 阿閼如来 あしやくによらい オン アキシユ ビヤ ウン

十三回忌 金剛界大日如来 こんじょうかいだいにちによらい オン バザラ ダド バン

十七回忌 胎藏界大日如来 たいそうかい オン アビラ ウン キヤン

二十三回忌 般若菩薩 はんによぼさつ オン ジシユリ シユロダ ビジャエイ ソワカ

二十五回忌 愛染明王 あいぜんみょうおう オン マカラギヤ バズロシユニシヤ バザラサトバ ジャク ウン
バン コク

二十七回忌 金剛界大日如来 オン バザラ ダド バン

三十三回忌 虚空蔵菩薩 こくうぞうぼさつ オン バザラ アラタンノウ ウン

三十七回忌 金剛薩埵 こんじょうさつた オン バザラ サトバ アク

五十回忌 愛染明王 オン マカラギヤ バズロシユニシヤ バザラサトバ ジャク ウン
バン コク

百回忌 五秘密 ごひみつ オン マカ ソキヤ バザラ サトバ ジャク ウン バン コク
ソラタ サトバン